

残席わずか

クラウドサービスの移行計画、運用計画の作り方【オンラインライブ】 (4122097)

クラウドサービス（主にパブリックIaaS）は迅速性や拡張性など便利な特性がある半面、既定のサービスということで様々な制約があります。本セミナーでは、クラウドサービスへの移行計画と運用管理に焦点を当てます。どのように移行計画を立てて実行していくのか、移行した後はどんな点に注意して運用していくのか、検討していきます。

開催日時	2022年6月24日(金) 10:00-17:00ライブ配信
カテゴリー	IS導入（構築）・IS保守 専門スキル
DXリテラシー	What(DXで活用されるデータ・技術)：デジタル技術
講師	澤橋松王 氏 (キンドリルジャパン株式会社 執行役員 最高技術責任者) チーフアーキテクトとして数々のクラウドプロジェクトのRFP作成を支援。IBMのクラウドサービス立ち上げを推進。 2021年9月より現職。 日本情報システム・ユーザー協会 非常勤講師 個人事業主（作家） 主な資格：TOGAF9、The Open Group Distinguished IT Architect
参加費	J U A S 会員/ITC：33,800円 一般：43,000円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	IaaSクラウドサービス利用を検討しているユーザー企業のご担当者 中級
開催形式	講義・個人演習
定員	20名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	・お申込み後マイページより受講票をダウンロードして内容をご確認ください。 ・演習や質疑応答でマイクを利用することがあります。ご発言いただける環境にてご参加ください。
ITCA認定番号	ITCC-CPJU9317
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

ライブ配信（Zoomミーティング）【[セミナーのオンライン受講について](#)】

■テキスト

開催7日前を目途にマイページ掲載

■開催日までの課題事項

特になし

<受講者の声>

- ・クラウド移行後の運用ポイントについて有益な情報であった。
- ・実践的で非常に参考になった。ケーススタディもよくある事例でイメージしやすく、参考になった。
- ・講師の実際の体験談を交えながらお話を伺えたので、リアルに、机上で学ぶ以上のことを学べた

クラウドサービス（主にパブリックIaaS）は迅速性や拡張性など便利な特性がある半面、既定のサービスということで様々な制約があります。本セミナーでは、クラウドサービスへの移行計画と運用管理に焦点を当てます。どのように移行計画を立てて実行していくのか、移行した後はどんな点に注意して運用していくのか、検討していきます。

第1部 クラウドサービスの特性を知る

- ・優れている点

スピード

柔軟性

地球規模

- ・制約となる点

ブラックボックス化されたサービス

サポートOSの制限

可用性（障害時と保守時）

監視と通知

ネットワーク速度と遅延

第2部 クラウド移行計画を作る

- ・通常の移行計画、プロジェクト管理との違い
- ・ボーディング計画
- ・構築計画
- ・移行計画
- ・テスト計画
- ・サービスイン・クライテリア
- ・リスク管理
- ・セキュリティ管理

第3部 クラウド運用計画を作る

- ・通常の運用計画との違い
- ・インシデント管理
- ・問題管理
- ・キャパシティ管理
- ・ライフサイクル管理

第4部 移行計画書、運用計画書のサンプルの解説